

100 実効性に疑問、新北朝鮮制裁案 (2月27日記)

難航していた北に対する新たな国連制裁決議が採択される見通しだ。今までにない強力な決議と謳っているが、実効性に疑問在り。抜け穴があり、中国が厳格に遵守する保証もない。これでは従来路線と同じだ。北の強制的な体制変換を目論むような方策を採るべし。

99 松蔭の読書量に驚愕(2月21日記)

氏家幹人著「江戸時代の罪と罰」を読んだ。同著 298p に曰く、件の吉田松陰が野山獄中に在りし時、年間読書量が 512 冊(安政 2 年)、505 冊 (安政 3 年) に及んだと云う。驚異的なり。閉じ籠り状況の小生も松蔭と同様の状況にあるとは云え、とてもじゃないが叶わぬ。

98 水爆実験? (1月6日記)

奇襲的核実験、水爆実験成功は事実なりや、事実とすれば由々しき事態だ。小型化と運搬手段の開発状況や如何に?国際社会は、そして日本は何を為すべきか?ハードランディング(軍事&それ以外の手段で)も視野に入れるべし。暴発があるか?レームダックの米国はどうする?

97 日本の責任?(続)(12月29日記)

人道的責任は百歩譲って認めても、法的責任はあり得ず。誤報をした某大新聞の責任や安易な妥協をした某官房長官の責任や如何に。翻って、誤報に便乗して対日圧力として悪用した韓国の責任や如何に。国内・外を鎮めうるのか、甚だ疑問也。

96 日本の責任とは? (12月28日記)

日韓の懸案たる慰安婦問題が決着した。不可逆的に蒸し返さず、全ての慰安婦像撤去との保証に懸念大なり。日本の責任とは何か、敢えて不明瞭が知恵なるか?当時の常識を現在の感覚で糾弾して責任ありというのか?政府は日本人慰安婦にどう対処?誰がここまで拗らせた。

95 誰が彼等をのさばらせたのか(11月15日記)

残虐非道なるパリ同時多発の惹起に驚愕。インテリジェンスの失態に相違なし。彼等を放置・増大させた罪は誰に?芽を早い時期に敢然と摘む方策、毅然たる態度はなぜ採れなかった?テロは弱いところを狙うのが常道。五輪を控えた我が国のテロ対策は万全か?

94 吉と出るか、凶と出るか?(11月7日記)

習近平と馬英九が会談した。明らかに、劣勢が伝えられる国民党への肩入れた。台湾

国民が今回の両岸首脳会談をどう評価するか、楽しみだ。常識的な国民は、中国のあからさまなテコ入れを嫌うだろうと思うが？中国も焦りが？両氏にノーベル平和賞？

93 凋落国家の悲哀（11月5日記）

拡大 ASEAN 会議は、同加盟国の及び腰・足並みの乱れにより共同宣言の発出もできず、中国の強面に米国の完敗だ。隣の大国は矢張り脅威なのだ。ASEAN 加盟国は米国の現状と将来の本気度に懐疑的。米国は、本腰を据えて諸国と向き合うべし。日本も積極的に ASEAN にコミットすべき。

92 日・中・韓首脳会談の評価（11月2日記）

中・韓共闘下の首脳会談、中・韓には今後の経済的なメリットがあるものの、日本には単に実施という実績のみ。「歴史を直視し」とは双方に都合よく解釈可能な同床異夢な語彙、かかる不毛な会談の意味は？見事に品性下劣なやり口、理解不能な国だ、某国は

91 異形の大国に如何に立ち向かうべきか（10月30日記）

南シナ海における航行の自由を制約するようなスプラトリー諸島の岩礁埋め立て、仲裁裁判所への提訴を認めないという傲岸な態度、日本領空への異常接近に対するスクランブルにいちやもんをつける中国、その行動原理を解き明かした本がある。

<http://yamashita.la.cocacn.jp/JBpress/20151029.pdf>

90 我が耳を疑う！（10月9日記）

ノーベル平和賞が、「チュニジアン・ナショナル・ダイアログ・カルテット」に決定。何時かのテレ朝のニュースで、憲法 9 条が有力候補と報じていたのには正直驚いた。このようにして世論形成を図るものならん。平和賞のような政治的なものは、ノーベル賞に馴染まない。

89 TPP の政治的側面(10月6日記)

ビッグニュース続きである。ノーベル賞の二日連続の受賞発表と TPP の大筋合意だ。ラグビーも？日本の将来にとって TPP は好材料だろう。勿論デメリットもあろうが、乗り越えられる。中国に対する強烈なパンチとの側面。何時までも世界の異端児でいる積りか猛省を促すだろうと期待

88 脇の甘さで完敗（10月1日記）

尼国の高速鉄道の熾烈な受注競争に日本は完敗、ODA の最大支援国、親日国、日本先行との観測やシステムへの絶対的信頼性への過信が某国の形振り構わぬ売り込みに虚を突かれた。知日派の切り崩し、ダンピングなど当然の術策、情報の収集と対応は万全だったか？他国にも波及？

87 「彷徨える英霊たち」(田村洋三著) 読後所見 (9月23日記)

海外戦没者 240 万柱、内未帰還英霊は 113 万柱だ。本書は未だ帰らざる英霊と父母妻子等との偽らざる魂の交感。信じられぬようなエピソードが数多あり。戦後 70 年、未だに日本の戦後は終わらず。帰還を待つ英霊に本邦にお帰り頂くべく国家の英断を。

86 言論の府のあらゆる手段の実態は？ (9月17日記)

安保関連法制、参院特別委員会で採決、本会議緊急上程。言論の府らしからぬあらゆる手段①女性議員を盾にした逆セクハラ作戦 ②委員長を理事会室から移動させぬよう人垣阻止作戦 ③議長の議事進行阻止のための突進包囲作戦 ④延々たる独演会作戦 恥ずかしい

85 70年談話閣議決定 (8月14日記)

なかなか味のある談話だったのではないかと思料。戦略的、未来志向的で尚且つ安倍首相の想いを反映、批判的な連中にも余り文句を言わせないような談話だった。政治カード化を狙っている中・韓と何でも反対の野党は何か言うだろうが、世界は日本の想いを感じ取ったと確信

84 元首相などと云う勿れ (8月13日記)

鳩山元首相が韓国で土下座のパフォーマンス更に日本の軍事大国化懸念宣言とか、韓国に何処まで迎合すれば気が済むのか、理解に苦しむ。国益を損なうこと極めて大である。我が国は永遠に謝罪し続けねばならぬのか。中・韓の政治カード化こそ懸念材料だ。

83 経済的徴兵制？素晴らしき(?)造語力 (7月27日記)

左翼系の紙上で、「経済的徴兵制」なる造語が踊る。この言葉ほど、入隊する若者を馬鹿にした言葉もない。彼等は自らの意思で、国に尽くすことに納得もした上で、自衛官への道を志しているのだ。こんな侮蔑的表現は許すまじ。怒るべし。

82 何故、この時期なのだ？ (7月8日記)

民主党と維新の党が領域警備法案を共同で提出すると云う。与党提出法案の成立阻止がその目的であるそう。対案たる安保法案も出さずに、反対策を弄する民主党は最早責任政党とは云えぬ。この点では、独自対案の良否は別としても対案を提出した維新が優っている。

81 譲歩は更なる譲歩を！ (7月6日記)

明治日本の産業革命世界遺産登録問題、勝ち誇る韓国と安堵の日本、対照的だ。大人の対応をも理解できぬ国とは最早付き合いきれぬ。疲れた。譲歩が譲歩を呼んだとも云

える。日本的な対応の限界を露呈せり。見切るべし。

80 己の異質さを認識か(6月22日記)

二進も三進もいかぬ韓国が遂に己の異質さを認識したか？世界遺産登録問題、東アジアの安全保障大局観喪失、歴史認識拘泥固執の異常さは、韓国疲れを起し、世界から浮きつつあり。経済不振や危機管理の弱点露呈もあり、沈むは必定、起死回生は日本連携にある。

79 可笑しな議論に終始する愚(6月15日記)

先祖返りしたとしか思えぬ民主党の論陣、憲法は絶対善でも、不磨の大典でもない。今国家にとって何を為すべきかを問い、その結果と憲法の整合性を考量すればいい。必要ならば改正すべき。憲法守って国破れになり兼ねぬ議論は順逆転倒。

78 大失態だ！緊張感を持つべし (6月5日記)

衆院憲法審査会の参考人質疑で、あろうことか与党推薦の大学教授が集团的自衛権限定容認を可能とする安保関連法案を憲法違反と断じ、野党やマスコミは鬼の首を取ったみたいに狂喜している。何を考えて人選をしたのか、疑問だ。緊張感欠如、大局を見ていない。

77 橋下政界退陣を惜しむ(5月18日記)

極めて僅差で大阪都構想が潰え、橋下徹氏が涙と悔しさを滲ませ、政界引退の意向を表明した。統率力、実行力が衆に優れ、旋風を巻き起こした男の清々しさ、潔さに喝采を贈る。政治家橋本徹が投じた一石は、日本政治に革命的であっただけに、引退が惜しまれる。

76 「地方消滅」(増田寛也編著) 読後感(5月5日記)

想像以上に衝撃的な内容である。重要な提言が多数提示されている。課題は、提言を適切に取捨選択し実行し得る政治的、社会的そして企業人を含む各界各層のリーダーシップと人材の育成であろう。各所掌担当大臣の動きが良く見えないのが、残念だ。

75 安倍訪米の評価 (5月3日記)

米議会演説等、安倍首相の訪米は歴史に残る快挙。左・右派共に幾何かの不満は残るものの、全体としては納得。諸外国も、中・韓以外は好意的に評価している。日本としては、首相演説以上の譲歩は有り得ない。両国は未来志向の意思なく、日本を貶めることのみ汲々たり。

74 何か可笑しくないか？（4月14日記）

福井地裁が、福井高浜原発の再稼働を認めずとの仮処分を決定した。仮処分とはいえ、裁判所に、斯様な決定を行う権限があるのか、法律の素人は理解に苦しむ。裁判官が原発の安全性を判断し得る識見を有しているのか？管轄権の問題？裁判は神羅万象全てに及ぶ？

73 少しは真面に（4月7日記）

中学校社会科教科書に竹島、尖閣諸島が固有の領土と明記され、内容も大分充実した。近現代史についても、新検定基準に合致した記述となったようだ。これらはこれらで前進だ。まだまだ物足りない面は多々あるものの、真面な国への第一歩と評価したい。

72 見苦しき哉！（2月27日記）

英王子の来日都知事が五輪会場や浜離宮等を案内している映像を見て違和感を覚えた。ゲストたる英王子を差し置いてではないとしても、何故知事が歓迎者に手を振るのか？目立ちたがり屋か？エスコートするホストの矩を超えている。失礼だし、見苦しい。少なくとも日本的文化ではない。

71 過敏過ぎか or 屈したと云うべきか（2月15日記）

中東国開催スポーツの国際試合参加日本代表は「JAPAN」と表示ユニフォームの着用を会場以外では、禁止したと云う。開催国からの要請などないにも拘らず、そこまでやるのか、相手国に失礼。過敏過ぎる、ISの思う壺だ。危うきに近寄らずは当然だが、

70 異論有り（2月3日記）

外務省の再三の要請を無視しての渡航を何と評価？それでも救出に奔走せざるを得ないとは、国家の責任とは何か？安倍首相の演説のTPOに異議ありと唱える者あるが、果たしてそうか？テロに対する国家の意思表示は重要。一国のみの安全は有り得ず、日本の手段限定的なれど戦うべし。

69 ISILの策謀に対し（1月31日）

死刑囚と捕虜となった空軍中尉及び後藤氏人質交換が膠着状態である。ISILの狡猾な焦らし作戦でヨルダン国内情勢を不安定化させてはならない。ISILの策謀に乗せられることなく、関係国の努力により早期解放を図るべし。されど、矢張りテロに屈したとの誹りは免れぬ。

68 絶対正義や無制限自由？（1月17日記）

仏テロで「表現の自由」は絶対正義であり、無制限かのような論調があるが、果たして如何なものか？自由の基本原則は、他者への寛容であり、多様性の尊重である。価値観に関わる分野（宗教等）は、相対的・相対主義であるべき、絶対善なく、唯我独尊は有り得ず

67 言論・表現の自由とテロ（1月9日記）

SONY の映画公開に対する北朝鮮のサイバーテロ、フランスの政治週刊誌発行社での銃撃事件等世界はテロの時代に突入か？テロは絶対許容できないが、品性のない映画や無制限な自由を認めるのか、悩ましき。テロとは断固戦うべき、が良識と寛容ある社会は何故来ぬ。

66 真の体質改善と責任を取るべし（12月23日記）

所謂従軍慰安婦問題に懸る誤報検証第三者委員会報告書が公表。朝日新聞の体質を厳しく指弾しており、妥当な内容だ。政治問題化の企図、先入観に基づく報道、常套的な議論のすり替え等々を払拭して再生すべし。日本を貶めた大責任を如何にとるか注視したい。

65 不可解な判決が元凶か？（12月17日記）

五島沖のサンゴ密漁船長に対する 10月16日の無罪判決がその後の小笠原密漁船の急増を招いたのは事実だろう。前回でも逮捕者はほんの一部であり、彼等は明らかに味を占めている。日本は舐められている。我が国の EEZ に向かいつつある密漁船に如何に対峙するのか。

64 機長は何故唯々諾々と応ぜしか（12月12日記）

大韓航空機のナッツ・リターンが大問題となっている。副社長たる財閥令嬢の横暴、傍若無人なる行為に非難轟々。非難は、然り当然也とは云え、該機の機長は何故職務上の命令権限のない者の命に従ったのか、そこに韓国社会の病巣がある？何故誰も指摘しない。

63 革命は熱情だけでは成就せず（12月3日記）

香港雨傘革命、発起人 3 名の出頭で霧消確定。組織性も戦略性もなく在るは穏健な熱情だけ。それで革命などできる筈なし。革命と云うのは生易しいものではない。まして、中国共産党、巨大な象には、それを上回る巨大なエネルギーが必要だ。彼等は何か学ぶだろうか

62 雨傘革命は霧消（11月26日記）

9月28日來の香港の「雨傘革命」は、当局によるバリケード撤去で霧消するだろう。

予測の通りだ。限定地域での運動であり、全国的な運動の広がりには欠け、運動の明確な目的もなく、組織性も戦略もなく、当局の切り崩しに敢無く瓦解。現体制は強い。
本教訓を如何に活かす？

61 解散・総選挙に思う！(11月18日記)

首相が解散・総選挙を決断した。弾力条項があるとは云え、法定事項の延期には、国民に信を問うべきだ。景気の腰折れを防ぎ且つ消費税を上げて財政再建化の為には必要な決断と評価。大義なき解散などとの声もあるが、退路を断ち、厳しい選挙に敢えて挑戦する志に感服。

60 止まるを知らぬ無法振りに毅然と(11月4日記)

国交大臣や官房長官の赤サンゴ密漁船に対する対応を評価する。彼の国の国策としての無法操業、軍事訓練の一環かも。生温い対応では臍を噛むは必定。自衛隊がバックアップできることは何か？海保を含む警察力で対応できない時にはどうするか覚悟を決めよ。

59 選良とは！(10月29日記)

民主党の幹事長の政治資金収支報告書への収入漏れが発覚。与野党が粗探しばかりしているのではないかと懸念大。お互いに鬼の首を取ったみたいに喜ぶなど低レベル極まりなし。襟を正し、清廉たるべきだが、国民の負託に応える本当の仕事をすべし。斯様な選良しか持てぬとは

58 真意は奈辺にありや(10月26日記)(facebook)

日韓の議連が従軍慰安婦問題の解決に向けて日韓双方が努力することを明記した共同声明発出した。日本が何の努力をすると云うのか？そもそも従軍した慰安婦は居ないし、強制された慰安婦は居ないのだ。真意がつかめない共同声明だ。確かに日本軍が慰安所を管理したのは事実だが、そのことと慰安婦問題の解決努力とは直接的に関係ない。韓国側に阿たのではないか？中途半端な物言いは誤解を生み、将来の禍根を招く。

57 不毛なる議論＝政治のレベル低下顕著(10月24日記)

宮沢新大臣の政活費の使途に関し、政局化せんと低俗なる議論横行。政活費＝税金との認識なき政治家多し。民主党政権時代の閣僚にも同様の支出有りとも。ステーツマンなき日本の将来や危うし。政治家のレベル＝国民のレベル也 如何せん！！

56 大宰相を彷彿と(10月21日記)

安倍首相の女性閣僚2名の辞任、選定に至る決断は、禍を転じて福と為す可能性を秘

めている。第一次政権時の優柔不断さは微塵もなく、果断に対処し、危機管理の見本みたいなものだ。その余りもの見事さに野党も茫然自失、為す術なしと云う為体である。

55 足の引っ張り合いをしている余裕があるのか(10月19日記)

安倍首相には女難の相があるとの評もあるが、女性閣僚の脇の甘さが酷すぎる。政権には大打撃だ。不透明感漂う。然し、鬼の首を取ったみたいに欣喜雀躍の某党も低レベルだ。最も自民党も同じだったが・・・日本の政治が成長しないのは嘆かわしい。

54 とともに謀るに足りず (10月9日記)

産経前支局長の在宅起訴に、日本は勿論欧米各国から非難轟々。当然也。「鴻門の会」の項羽を軍師范増が評した名言「豎子不足与謀」を想起。国家の品性の下劣さ、未成熟国家なるを再確認、呆れ果てた。大切な隣国と思えばこそであったが、これ以上の交流は御免蒙りたい。

53 分断工作奏功か (10月8日記)

香港の学生等の抗議デモが竜頭蛇尾の様子だ。あの熱情はどこに消えた。中国政府の分断工作が奏功し始めたか？如何なる汚い手を使ったのか？本人・家族・Gpへの脅迫や利益誘導、Gp対立の増大・煽動、仲間割れや切り崩し等、仮面一般市民の反対運動、何でも御座れだった？

52 若い才能に期待 (10月8日記)

「靖国への帰還」舞台稽古を見せて貰った。経済的には恵まれない中で若い俳優諸氏が真剣に取り組む姿に感動、その情熱を持ち続け、大輪を咲かせて欲しい。演出家と役者の真剣勝負も良い。好青年ばかりだ。猛訓練の成果を滝野川会館で是非。

51 ギリギリの派遣活動(10月2日記)

御嶽山の噴火災害、哀悼の意と災害派遣従事中の自衛隊を含む合同救助隊の方々に敬意を表す。自衛隊にとっても初の事態対応。ヘリCHもUHも性能ギリギリ、操縦士の高度技術で運用。地上部隊も二次災害の危険と隣り合わせ、体力・気力の限界。察すべし。感謝と声援を！

50 正面から戦うべし(9月30日記)

昨日の臨時国会開会に当たっての首相所信表明演説には失望。消費税増税、集団的自衛権関連及びイスラム国対応等、本来最も喫緊の課題を回避し、中身のない地方創生、女性活用に焦点とは、安倍さんらしくない。正面から戦ってこそ本物のステーツマンだ。

残念なり。

49 大人の対応にも限界有り(9月24日記)

アジア大会の運営が物議を醸している。バドミントン空調操作疑惑、日本代表宿舎の問題、選手用弁当からサルモネラ菌等々その事例はネットに氾濫。大人の、成熟した対応すべきとしたり顔で述べる評論家あるも、それにも限界有りだ。成熟を促すこと自体無理なるか

48 卑怯なり、NHK アンケート設問(9月17日記)

何の気なしに聞いていて、卑怯と感じた NHK の五輪アンケート「競技種目を増やすべきか、それとも肥大化を防ぐために増やすべきでないか」(少々記憶定かではないが・・・)と、NO の方向に誘導しようとしているではないか？こんな設問では、NO が多くなるのは自明だ。

47 不明を恥じる (8月30日記)

朝日新聞記事に踊らされて、「敵前逃亡とは情けなや (5月20日記)」と呟いたが、事実はそうではない。“日本よお前もか”とショックが大きかったが、事実誤認であり、日本と日本人は矢張り素晴らしいと改めて確認できた。踊った小生の不明を恥じる。以前の呟きを取り消す。

46 課題を引き受けてこそ大政治家 (8月29日記)

来月3日の内閣改造を目前にして、政治家の駆け引きが激しくなっている。焦点は安保大臣に誰が指名されるかである。最適任者と目される御仁が火中の栗を拾わない方向のようだ。大政治家になれるかどうかの瀬戸際である筈。尊敬する政治家であるだけに残念だ。

45 米政権内部で何が起きているのか？ (8月13日記)

イラク情勢に関し、過激派組織「イスラム国」の攻勢によりイラク北部の山岳で孤立しているヤジューディ教徒の救出のため、米軍が地上作戦を検討していると報ぜられた。大統領は地上部隊は派遣しないと声明していたが、・・・一体どうなっているのか？

44 重い腰を上げた米国 (8月9日記)

拡大を続けるイスラム教スンニ派の過激派組織の ISIS に対して、米国がやっと重い腰を上げて空爆に踏み切った。イラク情勢の緊迫化に弱腰と批判された米国の決断は遅いのではないか？米国は、再び、世界の警察官たる役割を再認識するか？

43 ODA大綱見直し歓迎(6月27日記)

有識者会議が外相にODAの軍事利用禁止する要件の緩和等を柱とする報告書を提出。極端な平和主義による軍事的用途の回避が見直され、国家戦略からの視点に基づく一定程度のASEAN支援が期待される。中進国やODA卒業国も対象となる由。年内閣議決定へ

42 朝鮮総連本部売却問題に一瞬啞然(6月20日記)

最高裁が、落札企業への売却を一旦停止するとの決定するとの先程のニュースに、日本の裁判所も中国や韓国と同じように政治的判断をしたかと一瞬啞然。総連側の不服申し立てに対する結論確定まで所有権移転を停止するとの措置であり、政治的判断ではなく、安堵

41 集団的自衛権座長試案に異論有り(6月16日記)

座長試案は余りにも限定的すぎ、将来に禍根を残さぬか危惧する。運用の幅は広くすべきで、自らの手・足を最初から縛り、手の内を見せるは愚策だ。予測不可能な状況に柔軟性を持って対応する要度大である。政治的な歯止めは、国会の関与を強めればよい。国会ですら信じられないのか？

公明党が高村座長試案の自衛権発動3要件を容認し、シーレーン機雷掃海を含めるかどうかに関心が移っている。

40 続々報(5月29日記)

小生の重要データ保存HDD、パソコンショップに見放され、ネットで業者に依頼したところ、本日連絡あって回復可能とのこと。元のFATファイルに新たなFATファイルが上書きされたために、ファイル名が書き換えられているとか。一安心し、大枚の料金を振り込んだ。どうなっているのやら！！

33 敵前逃亡とは情けなや(5月20日記)

朝日新聞電子版「福島第一の原発所員、命令違反し撤退 吉田調書で判明」の記事を読んでガックリ。所員の9割が所長の待機命令に違反し第二原発に撤退したと云う。正に敵前逃亡、本来ならば銃殺刑だ。韓国の海洋警察の使命感の無さを誰が嗤えるか。日本よ、お前もか。

32 本質的な対策こそ重要(5月19日記)

韓国の朴大統領は、旅客船沈没事故を受け、海洋警察庁等の解体や、官僚機構の改

革を柱とする談話を発表。然しながら、組織改革も必要だが、根本的には、拝金・利益至上主義、汚職、格差等々の韓国社会の大改造が必要だ。その自覚は？日本は他山の石として自省すべし

3 1 火事場泥棒はどちらだ(5月13日記)

南シナ海域の中・越公船の衝突に関連した官房長官の発言に中国が火事場泥棒と非難した。韓国海洋警察が旅客船沈没現場に出払っている隙を狙って、中国漁船が黄海で違法操業を繰り返していると云う。果たして火事場泥棒は何れなりや。品性のないこと甚だし。

3 0 何を、今更遅し(5月11日記)

南シナ海での中国の傍若無人の動きには怒りさえ感じる。ASEAN 外相会議は、懸念の表明、「行動規範」策定の加速要求の緊急声明を採択した。規範策定は重要ではあるが、当面の危機には間に合わぬ。大事なことは ASEAN の団結、効果的な共同行動である。対中包囲網の強力な一核たれ。

2 9 悪意に満ちた記事 (5月8日記)

今朝の朝日のネットニュースを見て驚いた。集団的自衛権の閣議決定に関する記事で、「他国を武力で守る集団的自衛権行使を容認する云々」と表現している。集団的自衛権の定義を意図的に歪め、読者をミスリードせんとする意図明白である。大新聞の所業にあらず。

2 8 神学論争再燃か(5月4日記)

連休明けにも安保法制懇の報告書も発せられ益々集団的自衛権論争が喧しくなろう。色々なケースを取り上げて集団だ個別だと微に入り細に亘って議論するのだろう。重箱の隅を突つような議論、上げ足取りにも似た論争、根本を観ずに枝葉に走る議論に何の意味があるのか？

2 7 IE 修正プログラムに一安心 (5月2日記)

IEver10 を使用しています。脆弱性ある欠陥発見との報に他の閲覧ソフトを一時的に使ってみましたが、慣れないために不便を託っていました。修正プログラムが発行され安心しました。矢張り慣れたものが良いようです。

2 6 老いて尚烈々たり (5月1日記)

本日憲政記念館で行われた「新しい憲法を制定する推進大会」に参加して参りました。その参加所見等です。中曽根元総理は 96 歳 (今月下旬には 97 歳) だそうです、

唯々頭が下がります。

2 5 離島占拠に「対抗措置」自衛隊法改正への報道 (Y紙) (4月27日記)

今朝の報道によれば、「対抗措置」なる出動規定を設けてグレーゾーン対処に当たらせると云う。確かに前進ではある。だが、「対抗措置」も細かい規定で、手枷足枷がはめられてしまわないか懸念、矢張りネガリスト方式にすべきだ。

2 4 横取り米韓首脳会談雑感 (4月26日記)

- ①安保面等における日米韓の連携の重要性異論なし
- ②歴史認識問題提起に踊るか米国、建設的ではなし
- ③政府は米国等に粘り強く真実を周知させよ (情報宣伝戦に後れる日本)
- ④河野談話検証は粛々と進め、次いで次の段階へ
- ⑤歴史認識問題での中韓連携の危うさ

2 3 商船三井供託金支払が、悪しき前例となる (4月25日記)

早速に中国紙が「対日賠償で新時代と称賛」した記事を掲載したが、陸続と同様事案が燎原の火の如くに燃え広がるだろう。約40億円の由。競売回避、業務支障が理由とのことだが、残念也。何故に弱腰か？日本政府に対抗策はないのか？

2 2 韓国旅客船転覆事故は人災 (4月25日記)

- ①船長以下の責任者の旅客の安全確保の責任放棄
- ②未熟航海士に危険な海域を操船させたミス
- ③報道では基準を3倍以上超える過積載と貨物等の緊縛不徹底
- ④操舵機の修理未実施
- ⑤復元力不十分さを承知での運航：不作為の罪
- ⑥海上安全訓練等の未実施

2 1 やっと明言した尖閣諸島は安保条約の適用対象 (4月24日 1355)

共同記者会見で、大統領の口から尖閣諸島は日米安保条約の適用対象である旨の明確な発言があった。大統領の決断を歓迎する。首脳会談では集团的自衛権容認歓迎及びTPP継続協議合意 TPPと安保は両輪である。合意するだろう。

2 0 夫人を同伴せずに国賓と云えるか？ (4月22日記)

オバマ大統領の来日日程が公表された。国賓待遇とのことだが、中国には娘共々一週間滞在した夫人はなぜ来日しないのか？中国に遠慮したと疑われても仕方ない。大統領の本音が露わになったのか？

1 9 ご都合主義には付き合えぬ(4月20日記)

中国裁判所、商船三井の船舶差押え、72年の日中共同声明での「戦争賠償の請求放棄」合意を反故に①状況により合意をも反故にする御都合主義は信をなくす②日本国も民間も毅然と対応すべし③世界に不当性を訴えるべし④企業の危機管理は如何に

1 8 危機時における船長の対応は？(4月17日記)

韓国旅客船沈没事故①改造による船体バランスの悪化の影響は ②船長の早々の脱出疑惑浮上、最終責任者の責任の取りようは、本来船と運命を共にするのでは？ ③乗客の避難・脱出の不手際は？ ④韓国政府の対応は十全か疑問

1 7 小保方氏記者会見(4月9日記)

小保方氏を苛め過ぎではないか？ノーベル賞ものの発見であるならば、発表以前の段階で共同執筆者が、責任をもって検証すべきではないのか？見ていて可哀想になってきた。再現実験で証明するしかない。頑張れ、再現可能と信じたい。

1 6 出処進退発言に一言(4月5日記)

みんなの党の渡辺氏の件に関して、「政治家の出処進退は、本人が判断すべきもの」との発言があるが、適切な判断が出来ない輩が多くて、この言はあてはまらぬ。潔さこそ政治家の真骨頂たるべし

1 5

日本人はお人よし。外交において相手の善意に期待するのは愚の骨頂、冷厳なる現実主義者たれ

「河野談話で一応の区切り」信じたのに…石原氏：政治：読売新聞

1 4 南極海調査捕鯨全面敗訴に想う。

- ①科学的か否かは議論の分かれ目
- ②鯨食は日本の文化、欧米の食文化を押し付けるべきでない
- ③国際捕鯨取締条約の要否は、今後の捕鯨抑制必要性？
- ④現状での不承認であり対応策はある筈⑤上訴できず遵守の要あり

1 3 中国徴用工賠償請求を受理(3月21日記)

解決済み問題を政治問題化させる意図明白
三権分立と相容れず、違和感
中韓の連携か

日本は徹底して国際宣伝と抗議を

1 2 ロシア終にクリミアを編入へ (3月18日記)

- ①新冷戦時代に、DNAはN/C、クリミアの価値極めて大
- ②米・欧の弱腰明らか、有効な対策なし
- ③日露：北方領土問題凍結、欧米との一層の連携を
- ④ロシアへの対応を中国は注視か？

1 1 3月18日 ベビーシッター死体遺棄事件雑感

- ①母親の無謀さに驚愕 大事な子供を信頼出来るかどうか不明な者に預けられるものだ。信じられない。而も2泊3日も。
- ②シングルマザーに対する支援をどうするかを考える契機
- ③法の網から漏れた処で何か起きるのは常。何でも法的枠組み云々はどうかと思うが。

1 0 2月20日

一流選手の精神力に驚嘆！(2月21日記)

前日の惨憺たる成績から一転、自身も満足できる最高の演技を出来る精神力とは何だろう。単なる開き直りとも言い切れない何ものか？最高難度に挑みつつ失敗を繰り返しながらも遂に到達した快心の集大成の演技、浅田選手に賞賛を贈りたい。

9 2月19日

大技よりを確実性！(2月20日記)

ソチ五輪女子フィギュア SP 日本女子大不調の出発、フリーでの挽回も厳しいだろう。浅田選手は重圧に負けたのだろう。大舞台では乾坤一擲というか、大技で点数の嵩上げを狙うよりも、ヨナ選手のように出来ることを確実にやることの方がメダルへの近道だろう。

8 日本の互助精神健在！(2月17日)

豪雪で彼方此方で車両等が立ち往生。既に3、4日にならんとするが、足止めされたドライバーは大変だ。見かねた近隣住民が炊き出しを行っている。日本の麗しき互助精神の発露だ。

7 羽生結弦の金メダル称賛(2月15日)

彼の精神力や飽くなき向上心にも感嘆するが、驚いたのは彼のインタビューへの応答内容である。他のメダリストとは格が違う。本物のアスリートだ。被災地を想い、日本を背負い、表彰式では国歌を口遊む、彼の今後更に期待。

6 防災の日（1月17日）

本日は防災の日です。19年前に中部方面総監部防衛部長としての100日間における災害対応を思い出します。この特別な日に9都県防災訓練図上訓練におけるささいたま市の検証班補助官として参加しました。委細は明日ご報告します（今酔っている…

5 エクアドル邦人新婚夫婦死傷事件（1月6日）

彼等が奇禍に逢ったのは痛ましいが、危機意識が希薄だったのではないかと事前に流しのタクシーを使うなどの注意があった筈だ。徹底されていなかったか？旅行会社の手落ちか？日本と外国は違うということを深刻に認識すべきだ。

4 首相靖国（12月31日）

コメントする気も起きない。日本は正義はいずれ理解を得られるなどと悠長に構えるのではなく、日本の主張をどんどん発信すべきである。【首相靖国参拝】来年も中韓で反日！？ 中国「韓国と連携し歴史を守る」 - MSN 産経ニュース

4 12月31日

今更何を言っても遅い！綸言汗の如し。一部のマスコミと中韓を喜ばせただけで、日米関係を毀損した罪は大きい。何時も米国に振り回される。「失望している」は緊密な関係の証し…米務省：国際：YOMIURI ONLINE（読売新聞）

3 12月27日

急に思い立って、家内と一緒に、「永遠の0」を鑑賞して参りました。素晴らしい人間ドラマで、感動しました。百田氏は、色々なテーマを採りあげていますし、その何れもが素晴らしい作品ですね。初めて読んだ本は風の中のマリア、次いでボックスだったでしょうか？氏の本が愛読書となってしまいました。

2 12月26日

今年の12月は歴史的な決断があった月であると長く記憶に留められるのではないのでしょうか？折々の記に安倍総理の本日の靖国神社参拝と昨日からの普天間基地の辺野古移設に関する安倍首相と沖縄知事の会談等についての所見を纏めました。

1 12月24日

南スーダンの韓国PKO部隊への銃弾提供を巡る韓国の国防省の反論が可笑しい。不足しているから国連を通じて要請した筈だ。如何に国内向けとは云え、良識ある国家が二枚舌は頂けない。恥ずかしくないのだろうか？